

医療安全論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、附属病院医療安全管理部、附属病院臨床工学部		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

日本の医療において、安全確保が重要な課題となった歴史、医療現場で発生しやすい事故やその防止対策について学ぶことによって、医療安全確保の重要性を理解する。医療現場で起こりやすい事故とその発生のメカニズムを学ぶことによって、医療安全を確保するための基本的な考え方、現場で行うべき安全行動の実際について理解し、臨地実習や卒業後の実践場面において、安全が確保された行動を実施できるようになる。事故事例の分析などを通して、チーム活動による安全文化の醸成の重要性を学ぶ。事故発生時の組織的な対応、組織や個人が負うべき法的責任、被害者および事故当事者への支援のあり方について理解する。

・教育成果(アウトカム)

医療事故の契機となった事故とその発生要因、国や各医療機関で行われている医療安全を推進するための事故防止活動などを学修することによって、対象者の安全を確保することの重要性について理解できる。また、具体的な事故事例の発生要因や事故防止対策などグループでディスカッションすることによって、組織的に事故を防止するためのチーム活動を行う上で必要な基本的態度を修得することができる。さらに、安全確保のために必要な基本的態度と看護職として期待されている責務を理解し、看護実践において対象者の安全を考えた行動について考察することができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 医療安全の考え方の変化、国や医療機関等のリスクマネジメントの取り組みについて説明できる。 2. 事故発生時の対応と事故の被害者及び当事者への支援のあり方について説明できる。 3. ヒューマンエラー発生のメカニズムについて説明できる。 4. 安全で清潔な療養環境と適切な勤務環境の確保について説明できる。 5. 多職種と取り組む医療安全対策について説明できる。 6. 医療安全における看護職の倫理と責務および法的責任について説明できる。 7. 医療事故の要因分析と事故防止対策の具体的な方法について、自分の考えを述べることができる。
--

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室		
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/19 木 3限	【授業内容】医療安全と看護 ・医療安全に関する基本的用語を説明できる。 ・医療安全を学ぶ意味とその重要性について説明できる。 【関連するSBO】1、2、6 【事前学修：60分】重大事故として取り上げられた医療事故について調べる。 【事後学修：120分】日本の医療安全の考え方の変化についてまとめる。	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授
9/26 木 3限	【授業内容】医療安全への取り組み ・国や看護職能団体の医療安全対策の考え方を説明できる。 ・事故発生時の事故当事者と被害者への支援について説明できる。 【関連するSBO】1、2、3、4、6 【事前学修：120分】国や看護職能団体の医療安全への取り組みについてまとめる。 【事後学修：120分】事故被害者(患者)・家族への支援、具体的なケアについてまとめる。	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授

10/10 木 3限	【授業内容】 ヒューマンエラーのメカニズム ・違反やヒューマンエラーおよびコミュニケーションエラー発生メカニズムを説明できる。 ・エラーが起こりにくい仕組みを作るために、何をすべきか説明できる。 【関連するSBO】 2、3、5 【事前学修：120分】 日常生活で経験したミスやエラーを振り返り、要因について調べる。 【事後学修：120分】 ヒューマンエラーの理論と防止対策について要点をまとめる。	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授
10/24 木 3限	【授業内容】 医療現場のリスクマネジメントプロセスとその実践 ・看護業務に関わる医療事故の背景・要因・対策について説明できる。 ・インシデント報告の目的について説明できる。 【関連するSBO】 1、2、3、4、5、7 【事前学修：120分】 (提出①)実習で経験した「ヒヤリ」や「ハット」した場面を想起し、実際に行った対応、あるいはどうすればよかったか記述する。 【事後学修：120分】 医療現場のリスクマネジメントプロセスについて要点をまとめる。	附属病院医療安全管理部 浅尾 洋子 看護師長
11/1 金 2限	【授業内容】 医療機器における事故防止システム(設計・構造) ・人間工学的対策がとられている場面を列挙できる。 ・医療機器の使用に関わる危険とその予防策について説明できる。 【関連するSBO】 1、4、5 【事前学修：120分】 人間工学的対策がとられている生活環境や場面を調べる。 【事後学修：120分】 医療機器を使用する際の危険と予防するための行動についてまとめる。	附属病院臨床工学部 泉田 拓也 士長
11/6 水 3限	【授業内容】 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 ・医薬品、医療品への曝露とその予防策について説明できる。 ・労働形態、作業に伴う業務への影響とその予防策について説明できる。 【関連するSBO】 1、4、5 【事前学修：120分】 日本看護協会の「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン」(2018)を読み、要点をまとめる。 【事後学修：120分】 看護職の業務上の安全を脅かすリスクと対策について要点をまとめる。	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授
11/11 月 4限	【授業内容】 実習における事故事例の分析と対策① (ディスカッション、プレゼンテーション) ・事例検討の結果の共有を通して、安全確保のために取るべき行動について説明できる。 ・看護実践に潜む危険性を判断し、危険を回避するための方策について説明できる。 【関連するSBO】 2、3、4、6、7 【事前学修：60分】 環境調整および活動・休息援助技術についてまとめる。 【事後学修：120分】 事故事例の分析と対策についてまとめる。	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授
11/18 月 2限	【授業内容】 実習における事故事例の分析と対策② (ディスカッション、プレゼンテーション) ・事例検討の結果の共有を通して、安全確保のために取るべき行動について説明できる。 ・看護実践に潜む危険性を判断し、危険を回避するための方策について説明できる。 【関連するSBO】 2、3、4、6、7 【事前学修：60分】 食事の援助技術についてまとめる。 【事後学修：120分】 事故事例の分析と対策についてまとめる。	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授

・教科書・参考書等		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 第5版	松下由美子	メディカ出版	2023
参	医療安全とリスクマネジメント	嶋森好子、任和子	ヌーヴェルヒロカワ	2019
参	医療におけるヒューマンエラー 第2版	河野龍太郎	医学書院	2019

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験80%、課題レポート(提出①)10%、ディスカッションの取り組み状況10%の合計100%にて評価する。課題レポートの評価基準については、初回授業で提示する。ディスカッションの取り組み状況は、参加状況、事故事例の分析内容、プレゼンテーションにより評価(ルーブリック)する。 【形成的評価】 各回の講義の中で、学生同士で学修した内容を伝え合う時間を設け、学修の成果を確認する。また、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度を確認する。
--

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 提出された課題レポートについては、コメントをつけて学生にフィードバックし、授業の最終日に返却する。 授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次回の授業で回答する。 【その他】 能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3)：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影